

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
2017 年度定時社員総会参考書類

1 報告事項

- ・ 報告事項 1 2016 年度事業報告について
- ・ 報告事項 2 2017 年度事業計画及び収支予算について

2 決議事項

- ・ 議案第 1 号 2016 年度決算の承認について
- ・ 議案第 2 号 理事の辞任に伴う後任者の選任について
- ・ 議案第 3 号 任期満了に伴う監事の選任について

報告事項 1

2016 年度事業報告について

定款第 39 条の規定により 2016 年度の事業報告について事業報告書を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により報告する。

- 1 事業報告書 別紙のとおり
- 2 監査報告書 別紙のとおり

2017 年 6 月 5 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

2016 年度事業報告書

自 2016年4月 1日

至 2017年3月31日

1 組織活動

(1) 定時総会

2016年6月23日(木)に開催し、「2015年度事業報告」「2016年度事業計画及び収支予算」を報告し、続いて「2015年度決算」、「任期満了に伴う理事及び監事の選任」及び「定款の一部変更」をそれぞれ審議可決した。

なお、総会後は2件の講演(日本化粧品検定協会「化粧品のトレンドや流行等について」、郵便(中国)国際物流有限公司「中国市場・越境ECの現状」)、当会及び関係団体の2016年度補助事業等の事業説明、そして会員企業交流プレゼン大会を実施した。

(2) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

回	開催日	議案
1	5月24日(火)	①2015年度事業報告及び決算の承認について ②2016年度定時社員総会の招集の決定について ③台湾化粧品産業クラスター団体との協力連携協定の締結について
2	6月23日(木)	①会長及び副会長の選定について
3	9月27日(火)	①2016年度事業計画の変更及び収支予算の補正について
4	12月22日(木)	①タイ化粧品産業クラスター団体との協力連携協定の締結について ②次期唐津市長への顧問就任依頼について
5	3月22日(水)	①2017年度事業計画について

	②2017年度収支予算について
	③地域商社の設立について

2 国際取引拡大事業

(1) 海外クラスター組織提携事業

国際取引拡大の基盤となる海外化粧品産業クラスター団体との組織提携をアジア圏においても推進するため、アジア各国団体へのアプローチを開始し、台湾 Taiwan Beauty Valley (TBV)、タイ Thai Cosmetic Cluster (TCC) との協定を締結した。このほか、インドネシア、シンガポールとの団体にも接触済である。

TBV とは協定調印式にあわせて合同商談会を台北で開催、次年度は唐津において開催することで合意したところ。一方、タイとはこの協定締結が実質のスタートであり、今後関係性を深めていくこととなる。

<主な活動・動き>

- ・ 5月 9日～14日 台湾、シンガポール化粧品団体訪問
- ・ 8月 3日 台湾 TBV 合同商談会@台北市
- ・ 8月 5日 当会と TBV との協力連携協定締結@台南市
- ・ 9月 5日～9日 タイ、シンガポール、インドネシア化粧品団体訪問
- ・ 1月 20日 当会と TCC との協力連携協定締結@唐津市

(2) 海外販路開拓事業

アジア市場、欧州市場との商談・取引ルートを確立して当会会員企業の化粧品・原料の輸出などを推進することを目的に、引き続きジェトロ RIT 事業を活用するなどして会員企業とともに国際化粧品展示会へ出展したほか、展示会の機会などを利用した商談会を実施した。

特に欧州市場への輸出については、提携団体であるイタリア Polo Tecnologico della Cosmesi (PTC) の協力を得て、従来に比してコスト及び期間の圧縮が可能となり、かつ販路確保までを包含した化粧品輸出の新しいスキーム案を構築、会員企業4社とともに試行を開始した。

アジアへの展開については前項の TBV、TCC や、個別事業者との幾つかのつなが

り、輸出の際の基盤となりうる薬事処理に係る会員企業と海外企業との業務提携がようやくでき始めた段階であり、次年度以降本格化させていく。

<主な活動・動き>

- ・ 4月 12日～ 14日 InCosmetics Paris 参加 (11 企業 1 団体と面談)
外資誘致有力企業を中心にフォロー、招聘調整の実施。
- ・ 5月 18日～ 20日 上海 China Beauty EXPO 参加、中国人バイヤー400 名超へ JCC のプレゼンテーション実施
- ・ 6月 23日 第 1 回 RIT 国内研究会 (参加 9 企業、海外展示商談会に向けたビジネスセミナーを開催)
- ・ 7月 15日 伊 Chimar 来唐、欧州輸出プロジェクトスタート (4 企業)
- ・ 8月 3日 台湾 TBV 合同商談会 (参加 10 企業 1 大学、台湾企業 17 社、商談件数 80 件、成立案件複数)
- ・ 8月 9日 第 2 回 RIT 国内研究会 (参加 7 企業、講師 2 名による欧州規制や取引実現に向けたビジネスセミナーを開催)
- ・ 9月 18日～ 24日 フランスミッション (9 社 1 団体と面談うち 3 社継続案件)
- ・ 10月 13日～ 14日 Cosmetic360 (パリ) 出展 (会員企業 12 社、展示会後フォロー案件全約 70 件うち有望継続案件 4 件)
- ・ 11月 16日 第 3 回 RIT 国内研究会 (CV 副会長を招聘し、アジアンコンGRESSにおける講義と合わせ、クラスター産業間の取組に関するセミナーを開催、参加 13 企業、2 大学)
- ・ 11月 16日～ 18日 Cosmoprof ASIA (香港) 参加 (継続案件 2 件フォロー)
- ・ 1月 23日～ 25日 国際化粧品展の機会を利用したスペイン Beauty Cluster Barcelona (BCB) との合同商談会開催 (会員企業 24 社、BCB7 社参加)
- ・ 3月 17日～ 20日 会員企業 10 社とともに Cosmoprof Bologna へ出展 (会員企業 10 社、展示会後有望継続案件 11 件)

(3) マッチングサイト事業

海外とのビジネスマッチングを加速させるためのインフラとなるマッチングサ

イトの構築を開始した。基本機能の実装は完了、運用開始は2017年度となる見込み。

3 地域資源活用事業

(1) 事業化モデル事業

地域資源活用事業の事例創出と方法論の抽出・確立のため、2015年度スタートアップ助成事業対象案件のフォローを含め、会員とともにタイプ毎のモデル事業を実施した。

2016年度の新たな試みとして、化粧品業界に対する産地ブランディングを進めるべく、耕作放棄地の再生を絡めた素材創出・化粧品開発プロジェクトを開始、ビーバイ・イーによる「ネロリラボタニカ」シリーズに結実。これをみた複数の企業から協業打診が寄せられるなどの成果を得たところ。

<主な活動・動き>

- ・ 4月 19日 耕作放棄地ミカンプロジェクトの開始
- ・ 5月 11日 福岡女学院大学ゼミ連動化粧品開発プロジェクトの開始
- ・ 6月 30日 (株)緑門、スキンケアクリーム発売開始(前年度助成対象事業)
- ・ 9月 22日 ビーバイ・イー、耕作放棄地のミカン花水を用いた化粧品「ネロリラボタニカ」の発売開始
- ・ 10月 21日 福岡女学院大学、唐津産白イチゴを用いた化粧品「Mission Cosmetics」発売開始
- ・ 2月 20日 Luna、唐津産豆乳・唐津産ツバキ油を用いた石鹸の発売開始(前年度助成対象事業)

(2) 事業化助成事業

地域資源活用事業の事例創出と方法論の抽出・確立のため、佐賀県産素材を使用した会員による新商品開発を支援した。なお、当初想定していた大学との研究開発を含む新商品開発への助成については、当面応募が見込めないと判断、見送りとした。

<主な活動・動き>

- ・ 4月 12日 商品開発スタートアップ助成公募開始（～5月 18日）
- ・ 5月 19日 商品開発スタートアップ助成事業 10件採択
- ・ 9月 22日 ビーバイ・イー、ネロリラボタニカの先行発売開始（再掲）（アルデバラン社によるOEM生産）
- ・ 10月 14日 (株)ハーベスト、唐津産オリーブ葉を用いたナチュラルオリーブ化粧品発売開始
- ・ 11月 20日 グレイスファーム(株)、唐津産白いキクラゲを用いたぷるぷる石鹸「白美の雫」の発売開始
- ・ 11月 30日 Mirai Clinical LLC、唐津産松葉由来エキスと唐津産ツバキ油を用いたシャンプーの発売開始
- ・ 12月 14日 田中洋子 (YOKO JAPAN(株))、唐津産酒粕酵母、トマトを用いたオールインワンクリーム発売開始
- ・ 3月 31日 5件が引き続き開発中

(3) 原料素材開発事業

コスメ原料開発室を活用し、地産素材からのコスメ原料素材の発掘・開発を実施した。

<主な活動・動き>

- ・ 4月 27日 契約栽培へ向けた企業指定作物 1品目の試験栽培開始
- ・ 7月 4日 唐津市加唐島産ツバキ油初出荷
- ・ 8月 19日 薬用植物トウキ初出荷
- ・ コスメ原料開発室における素材収集とサンプル製造
(120品目・部位、274試料：3月末日現在)
- ・ 関係大学及び佐賀県工業技術センターと連携した機能性評価の実施
(64品目・部位、126試料、各3～8項目：3月末日現在)

4 コスメ環境整備事業

(1) 産学連携促進事業

産学連携を専任で担当するコーディネーター1名を4月より新規に配置し、会員大学をあらためて個別訪問し、研究シーズの把握を進めた。これをもとに、会員へのシーズ紹介と研究者との交流機会提供のため、2回の産学交流セミナーを開催した。

また、今後ますます重要性を増すと想定される動物実験代替法に係る情報蓄積のため、学会との関係性の深化に努め、その第一弾として、学会初のアジア大会となる動物実験代替法アジアンコンGRESの唐津開催を支援した。

なお、新たに東京工科大学、東京農業大学が支援会員として入会した。

<主な活動・動き>

- ・ 4月 1日 産学連携担当コーディネーター1名を新規配置 (増員)
- ・ 9月 5日 第2回産学交流セミナー@東京開催(参加者 78社 117名)
- ・ 9月 13日 東京工科大学光老化研究室が支援会員として入会
- ・ 11月 15日～16日 動物実験代替法アジアンコンGRES 2016@唐津開催
(参加者 18カ国 201名)
- ・ 12月 15日 東京農業大学生物産業学部が支援会員として入会
- ・ 3月 1日 第3回産学交流セミナー@唐津開催 (参加者 78名)

(2) 人材育成促進事業

コスメ産業集積地としての機能強化へ向け、当地へコスメ産業人材育成機能を備えるための基礎調査を化粧品業界へのヒアリング等により実施。あわせて、専門職業大学という形態での整備可能性について文部科学省及び経済産業省への聞き取りを実施し、一定の評価を得たところ。実現へ向けた検討のため、2017年度中に設立準備委員会(仮)を設立する予定。

<主な活動・動き>

- ・ 4月 1日～5月 31日 コスメ産業界教育プログラム・人材ニーズ調査
- ・ 9月 16日 関係機関ヒアリング

(3) ビジネス支援事業

会員のビジネス支援及びビジネス機会創出のため、会員ニーズに応じたテーマでのセッション及び交流会を開催した。

また、地元行政が新設した創業支援窓口や産業支援サービスと連携しながら、起業・創業の相談に対応した。

<主な活動・動き>

- ・ 6月17日 株式会社 Cosme de Marisol、唐津市内で起業
- ・ 6月23日 会員企業事例・事業紹介プレゼン大会（参加者148名）
- ・ 8月10日 YOKO・JAPAN株式会社、唐津市内で起業
- ・ 9月30日 第15回セッション：海外ビジネス・輸出勉強会（参加者20名）
- ・ 12月22日 第16回セッション：ASEAN進出における“適材適所”と“勘所”
～流通・商材の考察について～（参加者44名）

(4) 情報発信事業

当会活動の円滑化及び参画者・支援者拡大を図るため、ホームページやプレスリリースなどで当会活動の周知を行った。

<主な活動・動き>

- ・ ホームページの運営（2月26日リニューアル（29,344ユーザー、101,556PV/年）
- ・ メールマガジンの発行（全28回、配信アドレス数710件）
- ・ プレスリリースの発出（地元向け：随時、業界向け：10回）
- ・ 広告掲載（週刊粧業、日本木材学会、動物実験代替法学会アジアンコンGRESS）
- ・ 活動紹介番組 Kara 美 Channel 全9回放送（唐津市行政放送、YouTube）

(5) 認証制度事業（収益事業）

当会の活動財源としての収益事業の構築へ向け、海外事例や先行事例の調査などによる認証制度の調査検討を実施した。結論としては、収益事業としての構築は困難と判断したところ。認証制度以外の収益事業について、引き続き企画検討を進めていく。

<主な活動・動き>

- ・ 11月1日～2月28日 化粧品産業分野における認証制度調査・計画を実施

5 関連産業集積事業

(1) 関連産業集積促進事業

構想地域への企業等の集積を促進するため、関係行政機関と連携した企業誘致活動や現地視察対応、起業支援を実施した。

<主な活動・動き>

- ・ 4月 1日 (株)ライズウエーブ、唐津市内にオフィス開設
- ・ 6月 17日 (株)Cosme de Marisol、唐津市内で起業(再掲)
- ・ 8月 10日 YOKO・JAPAN(株)、唐津市内で起業(再掲)
- ・ 11月 29日 岩瀬コスファ(株)、唐津市内に原料物流倉庫を建設開始
- ・ 3月 29日 (株)クレコス、唐津市と進出協定締結

6 専門人材配置

(1) 専門人材配置

当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。

2016年度は、産学連携担当コーディネーター1名を4月から新たに配置した。

<専門人材体制>

- ・プロジェクトマネージャー1名
- ・チーフコーディネーター1名
- ・コーディネーター3名(国際担当1名、地域資源担当2名、産学連携担当1)
- ・コスメ原料開発室オペレーター1名
- ・スーパーバイザー3名

7 海外コスメ企業投資促進事業

(1) 海外コスメ企業投資促進事業

唐津市より「海外コスメ企業投資促進業務」を受託、海外の化粧品関連企業の唐津市への進出へ向けた誘致活動を実施した。本業務は地方創生事業として2015年度に唐津市が実施した業務を承継するもので、2015年度に接触済の有望企業へのフォロー営業と、新規有望企業の抽出・訪問営業により最低3社を招聘することとされた。

当会では本業務を遂行するために産業集積チーム内に外国語対応人材1名を

「唐津デスク」として新規に配置、さらに欧州側に「欧州デスク」として2名の現地エージェントを配置。必要に応じ国際取引担当コーディネーターの支援も受け、171社を抽出、50社との面談を経て、先方自費での訪問及びジェットロ事業を活用しての訪問も含め、7社招聘を達成したところ。うち2件は詳細な進出検討を進めている段階となっている。

なお、本件は単なる受託業務の遂行に留まらず、当会にとっても国際取引案件の創出や、新規海外企業の発掘・アプローチに係るノウハウの蓄積及び海外ネットワークの拡大にも有益であった。

<主な活動・動き>

- ・ 6月 1日 唐津デスク1名、欧州デスク2名を配置
- ・ 8月29日～1月31日 外資系企業二次投資可能性調査実施
- ・ 10月 9日～16日 独英仏企業10社集中訪問
- ・ 10月19日 海外コスメ企業招聘①(台湾、メーカー)
- ・ 10月22日～24日 仏ヴァルドワーズ県代表団来佐
- ・ 11月19日～21日 海外コスメ企業招聘②(仏、化粧品OEM)
- ・ 11月30日～12月1日 海外コスメ企業招聘③(中国、メーカー)
- ・ 12月 4日～ 6日 海外コスメ企業招聘④(仏、メーカー)
- ・ 1月21日～22日 海外コスメ企業招聘⑤(伊、化粧品コンサル)
- ・ 2月15日～17日 海外コスメ企業再訪③(中国、メーカー)
- ・ 3月14日～15日 海外コスメ企業招聘⑥(仏、産業団体)
- ・ 3月27日～28日 海外コスメ企業招聘⑦(英、メーカー)

8 地域商社設立準備及び海外展開促進事業

(1) 地域商社設立準備及び海外展開促進事業

唐津市より「地域商社設立準備及び海外展開促進業務」を受託。地域商社の法人設立準備及び事業準備を実施するとともに、玄界灘全域に生育する椿の化粧品の原料としての新たな事業の可能性を目指し、椿の賦存量調査を実施した。

本業務の実施に当たっては当会内に「地域商社準備室」を設置、専門人材3名、

事務員1名を雇用した。この4名は地域商社設立後に同社社員として転籍することを想定したもので、美容・健康分野での営業経験が豊富で、海外事業展開に精通した人材を配置し、地域商社設立に向けた整備のほか、海外テストマーケティングや商流パートナーの開拓、海外市場の適合調査、オリジナルブランド開発などを実施した。本地域商社は商社機能とメーカー機能を有し、地域の生産者や関連事業者と連携して地域の農林水産物を使用した化粧品や健康食品、原料製品を輸出・販売することを目的としている。取扱商品の候補として佐賀県内会員企業5社の商品を抽出、市場の反応を確認するために東京、シンガポール、イタリアの国際化粧品展示会へ出展した。

なお、地域商社は当会の全額出資により2017年4月3日に唐津市内を本拠地として設立を行うこととした。

<主な活動・動き>

- ・11月 1日 地域商社準備室開設
- ・1月 23日～25日 第5回国際化粧品展 出展
- ・2月 20日～22日 Beauty Asia 2017 Singapore 出展
- ・3月 17日～20日 Cosmoprof Bologna 出展
- ・3月 25日～26日 サガテレビ超！春フェス 2017 出展

<地域商社の概要>

- ・社 名 株式会社 Karatsu Style
- ・設 立 日 2017年4月3日
- ・資 本 金 300万円(当会が全額出資)
- ・所 在 地 佐賀県唐津市南城内1-1
- ・役員構成 代表取締役1名、取締役2名、監査役1名
- ・社 員 数 4名(代表取締役1名含む)
- ・業務内容
 - ・化粧品の企画、開発、製造及び販売
 - ・健康食品の企画、開発、製造及び販売
 - ・化粧品又は健康食品を扱う企業の商品販売の斡旋、仲介及び卸販売
 - ・前各事業に関する広告、研修会、イベント等の企画及び開催

・唐津市及び玄海町の地域産業の活性化に資する事業

9 会員の状況

(1) 2015年度期末

正会員 139名

支援会員 17名

計 156名

(2) 2016年度3月31日時点

正会員 173名 (継続 127名、新規入会 46名)

支援会員 19名 (継続 19名、新規入会 0名)

計 192名 (継続 146名、新規入会 46名)

監 査 報 告 書

2017年5月12日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

代表理事 アルバン・ロバート・ミュラー 殿

監 事 成島 茂安

監 事 江口 和幸

私たち監事は、当会の2016年4月1日から2017年3月31日までの2016年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を開覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

報告事項 2

2017 年度事業計画及び収支予算について

定款第 38 条の規定により 2017 年度の事業計画及び収支予算を作成し、理事会の承認を得たので、報告する。

- 1 事業計画書 別紙のとおり
- 2 収支予算書 別紙のとおり

2017 年 6 月 5 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

2017年度 事業計画

【総括表】

事業分野	事業名
1 新市場開拓事業	(1) 海外クラスター組織提携事業
	(2) ビジネスマッチング事業
	(3) 海外輸出促進事業
	(4) マッチングサイト事業
	(5) 海外企業コラボモデル事業
2 産業創出事業	(1) サプライチェーン構築事業
	(2) 商品開発・販売促進事業
	(3) セッション／セミナー事業
	(4) 企業進出支援事業
	(5) 産学連携促進事業
	(6) 人材育成事業
	(7) 企業活動強化及び創業支援事業（佐賀県委託）
3 地域ブランド事業	(1) 原料ビジネス開発事業
	(2) 地域モデル事業
	(3) 情報発信事業
	(4) インキュベーション事業
	(5) 地産原料開発事業（唐津市委託）
4 海外コスメ企業 投資促進事業	(1) 海外コスメ企業投資促進事業（唐津市委託）
5 専門人材配置	(1) 専門人材配置

1 新市場開拓事業

事業名	内 容
(1) 海外クラスター 組織提携事業	<p>○目 的 国際取引の基盤となる海外クラスターとの提携関係の拡大・深化を進めるもの。</p> <p>○概 要 ①クラスター組織連携促進 ・フランス、イタリア、スペイン、台湾、タイの化粧品団体との連携を推進・深化 ・アジア諸国の化粧品団体との交流促進</p>
(2) ビジネスマッチング事業	<p>○目 的 提携海外団体との連携を生かし、会員企業の展示会出展支援や商談機会を設けることで海外ビジネスを促進するもの。</p> <p>○概 要 ①展示会 ・COSMETIC360@フランス (10月) ほか ②商談会 ・フランス企業来日 (5月)、台湾企業来日 (8月) ほか</p>
(3) 海外輸出促進事業	<p>○目 的 会員企業の海外市場への輸出支援及び販路開拓の促進を図るもの。</p> <p>○概 要 ①アジア市場販路開拓 ・ASEANの消費者への直接販売(催事・棚確保、ショップ開設)をきっかけとした海外市場参入の手法検討 ②EU輸出支援事業 ・EU市場に向けた会員企業NB製品の輸出を支援 ・会員企業のOEM輸出事業の支援も検討</p>
(4) マッチングサイト事業	<p>○目 的 ウェブサイトを利用して海外とのビジネスマッチングを加速させるもの。</p> <p>○概 要 ①マッチングサイト運営 ・会員企業の商品・サービスのPRや、提携海外団体の会員企業の商品を紹介するバーチャル展示会の開催など</p>
(5) 海外企業コラボモデル事業	<p>○目 的 海外企業と JCC 会員企業がコラボした事業事例創出と方法論の抽出・確立のため、タイプ毎のモデル事業を実施するもの。</p> <p>○概 要 ①ターゲット国向け輸出化粧品開発 ②海外企業と連携した原料やブランド製品の開発</p>

2 産業創出事業

事業名	内 容
(1) サプライチェーン構築事業	<p>○目 的 JCC 設立趣意で謳う国際的コスメティッククラスターの形成を目指し、本地域のサプライチェーンの構築を図るもの。</p> <p>○概 要 ①地域商社活動への支援 ②地産原料加工活動への支援</p>
(2) 商品開発・販売促進事業	<p>○目 的 地域資源活用事業の事例創出と方法論の抽出・確立のため、会員による地域資源を活用した新商品開発を支援するもの。</p> <p>○概 要 ①スタートアップ助成 ・佐賀県産素材を使用した新商品開発への助成 ・補助率 2/3 (上限 50 万円)、採択 3 件予定 ②展示会出展助成 ・地域資源を活用した商品を展示会へ出展する会員企業への出展料に対する助成</p>
(3) セッション／セミナー事業	<p>○目 的 会員のビジネス支援のためにセッション (会員勉強会) やセミナー (公開講演会) を行うもの。</p> <p>○概 要 ①セッション又はセミナーの開催 (2 回予定)</p>
(4) 企業進出支援事業	<p>○目 的 美容健康関連産業の集積を図るため、国内外の企業の立地誘致や投資促進を図るもの。</p> <p>○概 要 ・県、市、町などの関係行政機関と連携した企業誘致活動 ・進出企業へのビジネスサポート</p>
(5) 産学連携促進事業	<p>○目 的 当地域をコスメに関する知の集積地とするため、支援会員大学等との産学連携事業を推進するもの。</p> <p>○概 要 ①産学交流セミナー ・会員大学のシーズ発表・交流会の開催 (2 回予定) ②産学連携助成事業 ・若手研究者対象の公募型研究開発助成事業 (1 件予定) ③学会支援 ・第 5 回水科学と水資源に関する国際会議と展覧会 (所管：福岡大学、8 月開催) ④研究シーズ整備 ・会員大学等の研究者情報及びシーズのデータベース化</p>

<p>(6) 人材育成事業</p>	<p>○目 的 コスメ産業集積地としての機能強化へ向け、当地へコスメ産業人材育成機能を備えるための基礎調査を行うもの。</p> <p>○概 要</p> <p>①化粧品科学講座 (15 コマ程度) 化粧品関連産業に従事する社会人向けにキャリアアップに必要な高度かつ専門的な知識・能力の修得をするためのプログラムを開発し、産業界人材のネットワーク作りを図る</p> <p>②教育機関整備構想 ・理論と実務両方を兼ね備えたグローバル人材を育成することを目的とした専門職業大学の設立の検討</p>
<p>(7) 企業活動強化及び 創業支援事業 (佐賀県委託)</p>	<p>○目 的 佐賀県からの業務委託により、原料・製品開発支援、地産素材のブランディング支援などを行い、入り口から出口までトータル的な支援を行う体制を構築するもの。</p> <p>○概 要</p> <ul style="list-style-type: none">・企業間マッチング及び商談サポート・原料・製品の開発及び販売、プロモーションに関する相談対応・地産原料・製品のPR活動、ブランディング支援 など

3 地域ブランド事業

事業名	内 容
(1) 原料ビジネス開発事業	<p>○目 的 地産素材からコスメ原料素材を発掘・開発するもの。</p> <p>○概 要 ①コスメ原料開発室の運営 ②研究開発・評価試験による原料開発 ③テスト圃場の整備及び運営 ④種苗助成制度の整備 ⑤地産素材由来原料提供サービスの構築</p>
(2) 地域モデル事業	<p>○目 的 地域資源活用事業の事例創出と方法論の抽出・確立のため、会員とともにタイプ毎のモデル事業を実施するもの。</p> <p>○概 要 ・地産素材を原料として使用した化粧品等の開発、販売、プロモーション及び地域ブランディングを一体的に取り組むモデル事業を展開 (3件程度)</p>
(3) 情報発信事業	<p>○目 的 当会の活動について情報発信を行うもの。</p> <p>○概 要 ・メディアタイアップ、書籍制作、展示会出展、イベント開催、ホームページ運用、パンフレット制作、ノベルティグッズ制作、広告出稿など</p>
(4) インキュベーション事業	<p>○目 的 個人、企業や生産者との協業で従来のサプライチェーンの枠を超え、他分野も含めた幅広い知見を融合する“ビジネス考案”の場を設置し、新たなビジネスモデルを実践する起業家を生み出し、出していくことを目的とするもの</p> <p>○概 要 ①インキュベーション・スペースの設置・運営 (コワーキングスペース、ショールームなど) ②ビジネスプランの考案、投資マッチングなど</p>
(5) 地産原料開発事業 (唐津市委託)	<p>○目 的 唐津市からの業務委託により、地産素材を使用した競争力のある原料の開発、素材栽培の拡大による産地化を図るもの。</p> <p>○概 要 ・地産素材を使用した競争力のある原料の開発、商用化 ・ツバキの産地化及びビジネス化の支援 ・水産資源の素材発掘及び機能性等分析 など</p>

4 海外コスメ企業投資促進事業

事業名	内 容
(1) 海外コスメ企業投資促進事業 (唐津市委託)	○目 的 唐津市からの業務委託により、欧州やアジアなどの海外コスメ関連企業の対唐津投資の誘致活動を実施するもの。 ○概 要 ・これまで調査された投資有望企業のフォローアップ ・新規有望企業の調査・開拓、有望企業への訪問営業 ・投資意向の強い企業を来唐招聘、投資交渉 など

5 専門人材配置

事業名	内 容
(1) 専門人材配置	<p>○目 的 当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置するもの。</p> <p>①専門人材の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトマネージャー 1名 ・コーディネーター等 11名 <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市場開拓 2名 ・産業創出 4名 (うち県委託分2名) ・地域ブランド 3名 (うち市委託分2名) ・海外企業投資 2名 (うち市委託分2名) <p>②専門人材の諸活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問による調査・営業活動等 <p>③スーパーバイザーの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化粧品産業関係、国際取引関係、産学連携関係

2017年度 収支予算書

(単位 千円)

収入の部					
科	目	2017年度	2016年度	増減額	摘要
会費収入		7,250	5,940	1,310	正会員174社
会費収入		7,250	5,940	1,310	
会費収入		7,250	5,940	1,310	
負担金収入		84,000	84,000	0	県：44,800
負担金収入		84,000	84,000	0	市：28,000
負担金収入		84,000	84,000	0	町：11,200
補助金等収入		79,297	127,911	△ 48,614	
委託事業収入		79,297	127,911	△ 48,614	
国委託事業収入		10,000	15,000	△ 5,000	各委託事業収入の 説明は表外に記載
県委託事業収入		22,918	0	22,918	
市委託事業収入①		24,053	0	24,053	
市委託事業収入②		22,326	34,000	△ 11,674	
市委託事業収入③		0	78,911	△ 78,911	
その他収入		10	50	△ 40	
雑収入		10	50	△ 40	
預金利息		10	50	△ 40	
繰越金		10,443	13,070	△ 2,627	
繰越金		10,443	13,070	△ 2,627	
繰越金		10,443	13,070	△ 2,627	
収入の部計		181,000	230,971	△ 49,971	

国委託事業収入：平成29年度地域中核企業創出・支援事業受託収入

県委託事業収入：平成29年度コスメ企業強化対策及びコスメ創業支援事業受託収入

市委託事業収入①：平成29年度地産原料開発事業受託収入

市委託事業収入②：平成29年度海外コスメ企業投資促進事業受託収入

市委託事業収入③：地域商社設立準備及び海外展開促進事業受託収入

支 出 の 部					
科	目	2017年度	2016年度	増減額	摘 要
事業費		164,297	212,911	△ 48,614	
新市場開拓事業		9,500	13,000	△ 3,500	
	海外クラスター組織提携事業	0	1,000	△ 1,000	
	ビジネスマッチング事業	6,000	7,000	△ 1,000	
	海外輸出促進事業	1,500	4,000	△ 2,500	
	マッチングサイト事業	1,000	1,000	0	
	海外企業コラボモデル事業	1,000	0	1,000	
産業創出事業		31,918	12,500	19,418	
	サプライチェーン構築事業	0	0	0	
	商品開発・販売促進事業	2,500	5,000	△ 2,500	
	セッション/セミナー事業	500	900	△ 400	
	企業進出支援事業	1,000	0	1,000	
	産学連携促進事業	3,000	5,600	△ 2,600	
	人材育成事業	2,000	1,000	1,000	
	企業活動強化及び創業支援事業	22,918	0	22,918	佐賀県委託事業
地域ブランド		41,553	15,000	26,553	
	原料ビジネス開発事業	8,000	3,000	5,000	
	地域モデル事業	1,500	7,000	△ 5,500	
	情報発信事業	6,500	5,000	1,500	
	インキュベーション	1,500	0	1,500	
	地産原料開発事業	24,053	0	24,053	唐津市委託事業
海外コスメ企業投資促進事業		22,326	34,000	△ 11,674	
	海外コスメ企業投資促進事業	22,326	34,000	△ 11,674	唐津市委託事業
地域商社設立準備及び海外展開促進事業		0	78,911	△ 78,911	
	地域商社設立準備及び海外展開促進事業	0	78,911	△ 78,911	唐津市委託事業
専門人材配置事業		59,000	59,500	△ 500	
	専門人材配置事業	59,000	59,500	△ 500	
管理費		16,703	17,043	△ 340	
会議費		3,000	3,000	0	
	総会、理事会等開催費	3,000	3,000	0	
管理費		4,500	4,230	270	
	事務所管理費	4,500	4,230	270	
事務費		9,203	9,813	△ 610	
	事務費	9,203	9,813	△ 610	
予備費		0	1,017	△ 1,017	
予備費		0	1,017	△ 1,017	
	予備費	0	1,017	△ 1,017	
支 出 の 部 計		181,000	230,971	△ 49,971	

議案第 1 号

2016 年度決算の承認について

定款第 39 条第 1 項の規定により 2016 年度の決算について計算書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により承認を求める。

- 1 計算書類 別紙のとおり
- 2 監査報告書 別紙のとおり

2017 年 6 月 5 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

貸借対照表

2017年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	62,240,889	26,537,321	35,703,568
小口現金	28,690	31,013	△ 2,323
収益事業収入口座	0		0
大口口座	31,267,341	20,685,483	10,581,858
代表口座	30,650,807	5,820,825	24,829,982
外貨現金	294,051	0	294,051
前渡金	4,598,070	5,000,000	△ 401,930
前払費用	101,900	93,900	8,000
立替金	2,411,102		2,411,102
未収入金	15,917,542	30,000	15,887,542
流動資産合計	85,269,503	31,661,221	53,608,282
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備	149,801		149,801
機械装置	410,455	711,041	△ 300,586
工具器具備品	2,366,711	1,226,934	1,139,777
一括償却資産	640,656		640,656
有形固定資産合計	3,567,623	1,937,975	1,629,648
(2) 無形固定資産			
システム構築費	2,309,850		2,309,850
無形固定資産合計	2,309,850		2,309,850
(3) 投資その他の資産			
敷金	29,000	21,000	8,000
投資その他の資産合計	29,000	21,000	8,000
固定資産合計	5,906,473	1,958,975	3,947,498
3. 繰延資産			
繰延資産	1,539,900		1,539,900
繰延資産合計	1,539,900		1,539,900
資産合計	92,715,876	33,620,196	59,095,680

II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	56,180,048	12,631,863	43,548,185
預り金	573,382	338,826	234,556
前受金	9,039,865		9,039,865
法人税等充当金	71,000		71,000
流動負債合計	65,864,295	12,970,689	52,893,606
負債合計	65,864,295	12,970,689	52,893,606
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	26,851,581	20,649,507	6,202,074
正味財産合計	26,851,581	20,649,507	6,202,074
負債及び正味財産合計	92,715,876	33,620,196	59,095,680

正味財産増減計算書

2017年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	7,510,000	6,020,000	1,490,000
負担金収入	84,000,000	84,000,000	0
補助金等収入	114,862,357	14,495,565	100,366,792
(2) 売上原価			0
委託業務費	7,376,400		7,376,400
経常収益計	198,995,957	104,515,565	94,480,392
(2) 経常費用			
広告宣伝費	14,403,544	3,722,587	10,680,957
荷造運賃	880,698	303,130	577,568
給与手当	58,784,898	38,134,096	20,650,802
雑給(賃金)	126,888		126,888
法定福利費	8,713,416	5,234,541	3,478,875
厚生費	295,879	437,544	△ 141,665
減価償却費	1,843,002	434,191	1,408,811
賃借料	9,292,496	5,190,745	4,101,751
修繕費	9,747		9,747
事務用品費	323,764		323,764
消耗品費	2,987,327	2,944,819	42,508
水道光熱費	260,998	260,238	760
旅費交通費	27,766,005	18,147,248	9,618,757
手数料	438,859	261,520	177,339
租税公課	358,222	73,830	284,392
渉外慶弔費	2,727,406	1,595,157	1,132,249
保険料	379,110	359,837	19,273
通信費	887,989	632,670	255,319
諸会費	564,950	548,966	15,984
図書印刷費	2,051,632	1,337,223	714,409
支払報酬	16,047,219	3,807,763	12,239,456
支払負担金	3,248,000	748,000	2,500,000

委託料	40,297,289	7,301,174	32,996,115
雑費	20,520		20,520
会議費	19,909		19,909
経常費用計	192,729,767	91,475,279	101,254,488
当期経常増減額	6,266,190	13,040,286	△ 6,774,096
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取利息	1,090	9,875	△ 8,785
雑収入	6,058	40,277	△ 34,219
経常外収益計	7,148	50,152	△ 43,004
(2) 経常外費用			
雑損失	264	20,000	△ 19,736
経常外費用計	264	20,000	△ 19,736
当期経常外増減額	6,884	30,152	△ 23,268
税引前当期純利益	6,273,074	13,070,438	△ 6,797,364
法人税住民税及び事業税	71,000		71,000
当期一般正味財産増減額	6,202,074	13,070,438	△ 6,868,364
一般正味財産期首残高	20,649,507	7,579,069	13,070,438
一般正味財産期末残高	26,851,581	20,649,507	6,202,074
II 正味財産期末残高	26,851,581	20,649,507	6,202,074

監 査 報 告 書

2017年5月12日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

代表理事 アルバン・ロバート・ミュラー 殿

監 事 成 富 茂 安

監 事 江 口 和 幸

私たち監事は、当会の2016年4月1日から2017年3月31日までの2016年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

議案第 2 号

理事の辞任に伴う後任者の選任について

理事 2 名の辞任に伴い、後任者の選任を提案する。

1 理事候補者 2 名

- (1) 山下 宗人 [新任] (佐賀県 産業労働部副部長)
- (2) 井上 和彦 [新任] (唐津市 商工観光部長)

2 辞任する理事 2 名

- (1) 中島 武子 [辞任] (佐賀県 健康福祉部男女参画・こども局副局長)
- (2) 小形 昌和 [辞任] (唐津市 企画部長)

2017 年 6 月 5 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

議案第3号

任期満了に伴う監事の選任について

第26条第1項の規定により現監事全員の任期が本総会終結時をもって満了となるため、つぎのとおり監事2名の選任を提案する。

1 監事候補者2名

- (1) 成富 茂安〔重任〕(成富税理士事務所 所長)
- (2) 江口 和幸〔重任〕(辻・本郷税理士法人 理事長室総括部長)

2017年6月5日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー